

として実施しており、農家地区の協議会で箱罫を購入して捕獲を実施したり、町としても出産時期前の融雪期に箱罫を設置するなどの対策を実施しています。職員の資格取得は、動物の命を奪うという業務であるため、担当者すべてに強制するのは難しいと考えます。

【谷口委員】冬いちごの収穫量と経費節減に向けた考えは。

【農林課長】令和5年度産の収穫量は約1.9トンでした。10年の実証実験という契約でしたが、栽培技術が確立されたことから、今後はハウス内の温度設定を下げるなどの経費節減も考えながら普及拡大に向けて検討していきます。

商工費

【遠藤委員】市街地公園の花壇の破壊や壊れたイルミネーションの放置、広葉樹の剪定や落ち葉処理などについて、しっかりと管理できているか。

【商工観光課参事】落ち葉の清掃は町で行っていますが、その他至らない点については確認し対応します。

消防費

【植西委員】以前に検討となった消防団員の車両を活用した土嚢（どろ）の運搬についての検討結果は。また、給水ポリマーの入った土嚢を活用する考えは。

【消防署長】団員車両の活用については、検討して使用料を予算計上しました。給水ポリマー入りの土嚢は試したことがあり、水の勢いによつては流されてしまったため、不向きと判断しました。

【佐藤委員】原材料費が少額の決算で、押入れの改修に使われたようだが、仮眠室などは衛生的に問題ないか。

【消防署長】押入れを収納しやすいように改修しました。仮眠室はベツトで、エアコンも設置されて環境は良くなりました。

【植西委員】消防署の断熱等、冬の寒さ対策の現状は。

【消防署長】断熱フィルムを張るなどの対策をしています。24時間体制のため、夜中も微小で暖房しており、問題ないと思っています。

サークルの合宿などを誘致することはできないか。

【商工観光課長】場内の宿泊施設が休業しており、大人数は受入れできませんが、小規模校の宿泊や町内民泊施設の利用なども実績がありますので、PRしていきたいと思っています。

【溢谷委員】スキー場最盛期の職員の間外、代休取得の状況は。

【商工観光課長】1月が最盛期で100時間程度の時間外勤務となります。できるかぎり振替休日の取得をさせていますが、現場の状況によつて取得できない場合は、時間外手当を支給しています。

▼公共下水道事業特別会計

【植西委員】汚水中継ポンプの更新状況と更新の際の費用負担の考え方、合併処理浄化槽を使用している家庭との平等性をどう考えるか。

【建設課長】ポンプの寿命は10年から15年です。更新費用は本来使用料で賄うのが原則ですが、これまでも一般会計からの補助で実施してきました。下水の受益者分担金徴収、浄化槽への補助金支出などによつて、ある程度均衡はとれていると考えています。

教育費

【植西委員】義務教育学校となつて視察に来る自治体等が増えていますが、先進的であることを示すためにもパンフレット等を作成し提供してはどうか。また、先進的で素晴らしい取り組みであることを町民に理解してもらおうための周知方法の強化も行うべきではないか。

いるのか。また、今後部員が少数になつても続けてほしいと思うが考えは。

【教育長】資料は当面手作りのものを活用したいと思いますが、義務教育学校の良さなどは広報紙などに掲載してお伝えできればと思います。

【町長】職員室の統一によつて教員のコミュニケーションがより図られるようになりました。ハード面の整備は完成しましたが、教育内容の進化は終わることなく続けたと思います。

【遠藤委員】図書館の新刊冊数を行政報告に加え、新刊本を紹介する機会を検討してほしい。

【教育課長】広報紙の「ぶつくんコーナー」で一部紹介しています。行政報告への掲載も含め、分類別の紹介などについて次年度に向け検討します。

【大熊委員】君の夢プロジェクトは生徒の希望どおりの事業ができて

▼財産に関する調書

【溢谷委員】有価証券の中で畜産公社の株券があるが、畜産農家が減つた現在では売却を考えてもいいのではないか。

【農林課長】現在も乳牛、肉牛農家があり、その繋がりも考慮して売却の考えはありません。

【植西委員】今後の基金積立の考え方について、庁舎改築の協議を中断し、中学校建設時に7億円の基金を使った経過もあるが、今後、複合庁舎建設も控えているため、どう積み立てていくのか。

【総務企画課長】大幅な積立は難しい状況です。有利な財源等を活用して進めていきたいと思っています。

【町長】中学校は国の補助単価が低く、基金を充当せざるを得ませんでした。今後、サービスの質を落とさずに事業の効率化を図ったり、補助金等の歳入確保に努めます。

▼総括質疑

【遠藤委員】住宅リフォーム支援事業について、断熱工事も補助対象となっているが、北海道の夏にもエアコンが必須の時代になってきていることから、エアコン設置も

【植西委員】近年の猛暑によりプール内の室温が相当高くなつてしまふようだが、換気方法など改修費用を予算化する考えはないか。

【教育課長】大規模な改修は考えていませんでしたが、室温対策としての予算見積りは検討したいと思っています。

【谷口委員】教育・文化振興事業補助金について、全道大会と全国大会で補助率に差をつけているが、ふるさと納税を活用し、補助率を上げるか、全額支給する考えは。

【教育課長】中体連関係は対象経費の全額、それ以外は決まった補助率で交付しており、一定程度ご家庭の負担は必要と考えています。

【町長】ふるさと納税の活用は一部に偏らない使い方が適切と考えており、本事業はこのままの考え方で続けていきたいと思っています。

補助対象とならないか。

【町長】本事業は、建物自体を改修して、住み続けられる住宅、中古物件として購入しやすい住宅とすることが目的ですので、外壁や窓などの断熱性を高めるなどの改修に活用していただきたいと思っています。

【佐藤委員】寿命という理由でグリーンパークキャンプ場内の樹木がすべて伐採されたが、同じくグリーンパーク内でも伐採が進められていくのか。

【商工観光課長】今回、枯れている樹木を施設利用者の安全確保のために伐採しました。樹木は残していく考えですが、危険箇所は伐採は考えていきます。

【植西委員】今の時代、一つの自治体に整備されていない機能を近隣自治体に求めていく連携中核都市構想の考え方は理にかなつており、他の自治体の利益になる予算の使い方もあり得ると思うが考えは。

【町長】現行でも一部事務組合などは他の自治体にある施設に対して予算を使っています。一つの町ですべての行政を行うことは難しいため、連携合意の内容によっては、本町の資産にならない場合でも予算を使うことは必要と考えています。

【植西委員】部活動等は低所得世帯の子どもにも均等に参加できる機会を与えるべきと考えるが、そういった補助金等の検討は可能か。

▼介護保険特別会計

【遠藤委員】地域まるごと元気アップ体操が廃止となったが、参加者へのフォローアップは行ったのか。また、ピピリハサポーターの活用で新たな介護予防事業はどのような展開されていくのか。

【保健福祉課長】事業内容が町の実態と合わなくなつたため、個々の状況をフォローできる個別訪問にも対応可能なピピリハけんこう体操に変更しました。事業効果の検証には少し時間を要しますが、サポーターの皆さんの協力をいただきながら介護予防事業の充実に努めます。

▼観光事業特別会計

【植西委員】利用者増の手段として九州地方の修学旅行や大学スキー